

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ウィーン大学研修
------------	----------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	6万 円	
図書費	2000 円	教科書代
学用品費	円	
携帯・インターネット費	2600 円	
現地通学費	8000 円	(研修先まで 20 分)
教養娯楽費	11万 円	観光代
被服費	円	
雑費	円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	19万 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
パスポートは余裕をもって取りに行った方がいいと思います。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 大学側から紹介された留学用キャッシュカードを持ち込んだ。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
事前に日本のネットで SIM カードを購入。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
自炊をする予定の方は菜箸や布を持っていくとよいと思います。 油は現地のものを使い切ることができましたが、塩・砂糖は現地で買うと大容量のものしか売っておらず全く使いきれなかったのが持参の方が節約になります。辞書は必須だと思います。 PC は私のクラスは全く使わなかったのでお土産を買う予定の方は重いのもっていかない方がいいと思います。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
目立たないショルダーポシェットの中に財布など大切なものを入れ、ずっと抱きしめて歩いていました。 比較的治安はよい方だと思いました。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮は問題なく接続できました。
教室の中は接続がやや不安定でしたが、問題は無かったです。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態	<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2 人)
3) 共有部分	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	寮の相方は同じ明治大学の学生だったので問題はありませんでした。 全く知らない外国人の方と一緒にいることもあるそうです。 ベッド、机、棚は個室に備わっており部屋は鍵をかけることができます。 私の部屋は直接つながっているバルコニーが共有スペースで喫煙所になっており、深夜に男女関わらず色々な人が来て大音量で音楽を流していたので、寝不足だったのと防犯面が心配でした。

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	1年間ドイツ語を勉強していたものの一番初級のクラスでしたが、スピーキングとボキャブラリーを増やすことに重点を置いた内容だったのでやりごたえを感じました。
2) 課外プログラムについて	私は参加していませんが、無料で参加できるものもあります。
3) 滞在先・現地での生活に関すること	スーパーは必ず店員に挨拶をするなど、最低限のマナーを事前に調べておくことと買い物などスムーズに進みます。 日曜はお店がほぼ閉まってしまうのである程度買いだめをしなければなりません。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

この研修を選んだ理由はドイツ語選択だったので語学力を向上させたかったからです。授業は午前中で終わるので午後は十分に観光する時間を確保できます。街並みや教会は美しく、とても満足感があります。週末にはザルツブルクやスロバキアなどの近隣諸国にお出かけするとよいと思います。小旅行の際は特急列車のチケットが必要ですが、外国語のサイトが不安な場合は当日券でも全く問題ありませんでした。
今年は円安だったこともあり、安く抑えるのは難しかったです。スーパーでは加熱しなくても食べられるサラミや生ハム、チーズが豊富に売っており、また野菜や果物はあまり高くありません。パンも安いので、簡単な自炊を続ければ節約することも可能だと思います。外食はひとりで三人前の量が出てきて三人前の料金をふんだくられる上に日本人好みの味ではないので、非効率的です。あと外で食べていると蜜蜂に強奪されます。
カフェのコーヒーとケーキはとても美味しかったです。コーヒー好きにおススメの留学だと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	60000 円	
図書費	2500 円	
学用品費	2500 円	
携帯・インターネット費	2300 円	12GB の SIM カードを購入しました。
現地通学費	700 円	(研修先まで 約 30 分)
教養娯楽費	55000 円	
被服費	4000 円	
雑費	5000 円	日本に絵葉書を送る際、5枚で€9(約 1500 円)ほどかかりました。
その他	40000 円	例: 日本へのお土産
その他	円	例:
合計	172000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にありません。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港、観光街での換金 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
渡航前に日本にてオンラインで購入しました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
思っていたよりも寒暖差が激しかったので、パーカーなどの防寒具が必要だと感じました。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
治安が悪いとされている地域を事前にインターネットで調べ、あまり近づかないようにしました。犯罪には巻き込まれませんでした。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の WIFI は問題なく使えました。現地の学生に、フリー-WIFI を使用しながら端末でクレジットカード関連の操作を行うことは危険だと教えられました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
食器などの必要なものが豊富に揃えられていて、非常に過ごしやすい寮でした。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
研修先での授業は少人数制ということもあり、講師や他の生徒と積極的にコミュニケーションをとれるため、ドイツ語を学ぶ上でとても有意義な環境だと感じました。
2) 課外プログラムについて
ピクニックに参加しましたが他国の留学生たちとなかなか言葉が通じず、意思の疎通にかなり苦戦しました。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
現地の人は、ドイツ語の他に英語を話せる人が多かったです。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は高校在学時から留学を目指しており、大学の第二外国語でドイツ語を選択したことがきっかけで今回のウィーン大学夏季海外研修に参加しました。自分のレベルに合ったクラスで授業を受けられるため、無理なくドイツ語力の向上を目指せるプログラムだと思います。滞在先のウィーンはとても歴史ある街で、観光地や伝統的な名所がたくさんあるため、授業後や週末の自由時間にはとても有意義な時間を過ごせると感じます。生活品はほとんど現地で買い揃えることが可能なため、こだわり等がないものに関しては無理に持参しなくても良いと感じました。SIM カードの容量は少し多めのものを用意しておくといいと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	100000 円	ほとんど毎日、昼夜の2食を外食で済ませた。
図書費	0 円	
学用品費	4000 円	指定教科書とノート
携帯・インターネット費	5000 円	出国前 2000 円、現地調達 3000 円。
現地通学費	8500 円	(研修先まで公共交通機関で 20 分)
教養娯楽費	70000 円	他欧州諸国への移動費(ドイツ、ハンガリー、スロバキア)
被服費	10000 円	防寒対策ができる衣類を持っていなかったため現地で購入
雑費	10000 円	日本へのお土産
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	206500 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 出国日に成田空港にて両替 その他用意したもの: <input type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
出国前に Amazon にて Three 社の 10GBSIM を購入した。10GB では足りなかったため、現地の Drei(Three) Store で追加購入。 現地での購入は、最も安いものを買いたい旨を店員に伝え、用意してもらった。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ハンディファン: 湿度は低いものの、気温は高いため室内外問わず重宝した。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
Google で下調べを行い、リアルタイムの災害情報などは iPhone からの通知で認識していた。個人で盗難等に警戒していたこともあるが、非常に治安が良くウィーン市内では犯罪に巻き込まれる恐怖などは全く感じなかった。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の Wi-Fi は室内では通信良好で困ることは特になかった。エレベーターやバルコニーなど共用スペースではつながりにくかった。ポケット Wi-Fi か SIM カードの利用で迷うと思うが、圧倒的に SIM カードを差し替えての利用をおすすめする。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

個室が 4 つで 1 ユニットになったレジデンスで滞在したが、共有部分を共用するルームメイトには初日のうちに面識を作った方がよい。作らないと居心地が悪くなるわけではないが、何かで困った時に相談できる人を増やせるチャンスだと思う。また、基本的にさまざまな国や地域からウィーンに来ているため、外国文化を学んだり、語学能力の向上のためにはほとんど他の学生と交流した方がよい。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容

研修開始週におけるウェルカムパーティーやピクニックなど、無料で参加できる学生交流イベントが多く企画されており、ドイツ語や英語でのコミュニケーションの場が用意されていた。

2) 課外プログラムについて

特に参加していない。

3) 滞在先・現地での生活に関すること

ホームステイではなく、寮生活になるため自分の年齢に近い人と交流する機会が非常に多い。オーストリア以外の欧州諸国からの留学生が多いため、欧米の同年代の学生がどんなことに興味を持っているのか知るためには良い機会だと思う。日本からの留学生と行動を共にするのも、欧米からの留学生と行動を共にするのも楽しめる。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

研修先を選んだ理由は、地域と国に関して 2 段階に分けて記載する。第一に欧州を選んだ理由は、私が小学校から高校まで取り組んだサッカーが盛んだからである。第二にオーストリアを選んだ理由は、ドイツ語が公用語の国だからである。これまでの大学における講義を通して、ドイツ人の感覚と日本人の感覚は異なっているが、非常に近いものがあると学んできた。また、ドイツ人との就労経験がある周囲の社会人の話からも、外国人の中では時間を守ることに執着がある国民性だと聞いていた。そのため、遠く離れた欧州の地で比較的類似点の多いドイツ語圏の国民性を学びたいと思った。現地での生活全般に関しては、出国前に英語はある程度話せるようになった方が研修全体が楽しくなるということを反省として記す。授業は全てドイツ語で行われ、英語やドイツ語の知識がなくても身につけていくことができる。ただ、日本以外の国から来た留学生とコミュニケーションをとるときは英語が主な手段であり、友人を増やしたり海外文化に多く触れるためには、英語でのコミュニケーション能力が必要である。私自身、翻訳機能を用いながら欧州の学生とコミュニケーションをとったが、やはりタイムラグが発生してしまうため、英語で対話したいという気持ちが強くなった。英語がドイツ語を習得していなければ研修に行かない方がよいとは全く思わない。むしろ、海外経験が少なく、将来的には生活や仕事を海外で考えたいと感じている人にぜひ参加してほしい研修である。私自身も今回のウィーン大学研修が初の海外生活だったが、心の底から参加してよかったと振り返ることができる。語学習得のモチベーションは、実際に海外に出てみることで強くなるのが実感できた。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	自炊+外食費
図書費	10000 円	
学用品費	3360 円	ドイツ語コースの教科書代
携帯・インターネット費	2500 円	
現地通学費	8200 円	(研修先まで 30 分) 一月定期を購入
教養娯楽費	80000 円	博物館や美術館等の観覧費や隣国への旅費
被服費	円	
雑費	5000 円	洗剤や日焼け止め等
その他	20000 円	例: 家族や友人等のお土産代
その他	円	例:
合計	179060 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: オンライン両替サイトで、日本で事前に両替して行った その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
現地のスーパーで一月分の SIM カードを購入 隣国への旅行の際には eSIM を購入 (説明書等が現地の言語で書かれているため、設定が難しいことを除けば、SIM は現地調達の方が良い気がします)
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
荷物の重さに余裕があるのなら、シャンプーやリンスを持っていくとよいと思う。自身の髪質に合うものを現地で用意するのは難しい。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
日本の外務省の海外渡航ページを確認する 外務省の安全情報サイトに登録して、最新情報を受け取れるようにする 夜はなるべく一人で出歩かない
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮や学校には WiFi が繋がっていて、快適にインターネットを利用することができた
それ以外では現地の SIM カードを購入し、利用した

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	
2) 部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)	
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
みそ汁やインスタント米など少し日本料理を持っていくと、自分でも食べることができ、現地の子にも配ることができてよいと思う	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	
到着して一番初めの行事にウェルカムパーティーがあり、ほかの国の子や、他校の子と仲良くなるきっかけになると思う。私は参加しませんでした。有料の追加語学クラスや、無料の午後のコースがあり、交流の場になると思います。	
2) 課外プログラムについて	
特に参加しませんでした。	
3) 滞在先・現地での生活に関すること	
電子レンジやオーブン、冷蔵庫等の基本の調理器具は共有部にそろっており、最低限の準備で自炊をすることができました。	

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私は大学でドイツ語を専攻しているため、自身の語学力の向上と実際にドイツ語圏の国の文化を体感するために、このグループ留学に参加しました。ウィーンの大学では、自身の語学力に合わせたクラスに参加して、効率的にドイツ語を学ぶことができました。ウィーンの人々は基本的に英語が通じるため、ドイツ語ができなくてもそこまで心配はいらないように感じました。またウィーンの日中は 30℃を超える一方、雨の日や夜はかなり冷え込みます。8 月でも 15℃くらいになることもあったため、冬物の上着があった方が便利だと思いました。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	74710 円	うち外食費55400円
図書費	0 円	
学用品費	3300 円	教科書代のみ
携帯・インターネット費	1500 円	15G のものを現地で購入
現地通学費	8160 円	(研修先まで30分)
教養娯楽費	33000 円	入場料など
被服費	0 円	
雑費	25700 円	お土産など
その他	48960 円	例: 交通費
その他	円	例:
合計	195330 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: <input type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
現地のスーパーで15G の SIM を購入しました。その SIM はオーストリアでしか使用することができなかつたため、近隣の国へ旅行に行く際は eSIM を利用したが、問題なく使用することができました。現地で購入した SIM の利用設定が難しかったため、日本で買っていくことをおすすめします。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
サランラップ、箸、スリッパ、長袖、水筒

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
事前学習の際に調べました。貴重品はリュックの奥の方や肩掛けバッグに入れ、常に身に付けるようにしていたため、現地で盗難に巻き込まれることはなかったです。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮、学校ともに特に問題はなかったです。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
共有スペースには外から靴で入るので、自分の部屋から共有スペースへ行く際に使用するスリッパがあるとよいと思います。キッチンには、食器や電気ポット、電子レンジは用意してあったため、調理は簡単にできました。トイレトーパーや食器用洗剤は同室の子と割り勘で買うとよいです。洗濯は1回2.75ユーロで洗濯代に思ったよりお金がかかりました。服を多めに持っていくと洗濯代が節約できます。また、洗濯機と乾燥機の数が少なく、調子が悪いと、稼働しているのが1、2台というときもありました。洗いたいと思ったときに洗うことができなかつたです。そのため、下着は多めに持っていくとよいと思います。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
ドイツ語の授業を通し、リスニングの力が上がったと感じました。先生が話しているときは全てリスニングだと思い、真剣に聞いていると耳が慣れてきて段々と聞き取れるようになってきました。また、少人数クラスのため様々な国から来た人たちと仲良くなることができました。
2) 課外プログラムについて
参加していない。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
到着から1週間ほどはとても寒かったため、トレーナーや上着を持っていくとよいと思います。2週目以降は通常の夏の暑さだったので寒暖差が激しかったです。 クラスメイトとの会話は英語が中心だったので、話についていけず、何度も聞き返してしまうことがありました。ドイツ語の勉強はもちろんですが、同世代の子とコミュニケーションを取りたいと考えているならば英語も勉強していくとよいと思います。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私はドイツ語を専攻しており、実際にドイツ語圏へ行くことで学習に対するモチベーションを高めたいと思ったため、本プログラムへの参加を決めました。また、ヨーロッパに対して憧れがあり行ってみたいと思ったこと、海外で生活してみたいと思ったことも大きな理由です。 ウィーンでの1か月間、様々な体験をし、充実した日々を送ることができました。寮の徒歩圏内に宮殿やショッピングセンターがあり、周辺を散歩するだけでとても楽しかったです。大学は街の中心地にあつたため、授業終わりにふらっと観光をして帰ることもできます。宮殿や教会、博物館めぐりをしたり、郊外に行つてのんびりしたり、と様々な楽しみ方ができる魅力的な街で、ウィーンのことが大好きになりました。今後の人生でも、機会を作って絶対にまた訪れたいと思います。それほどにウィーンは素敵な場所で、そこでの経験も素晴らしいものでした。ドイツ語を勉強している、いないに関わらず、興味がある人はぜひチャレンジしてみることをおすすめします。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	55000 円	
図書費	1600 円	本 2 冊と雑誌
学用品費	3279 円	教科書代
携帯・インターネット費	2000 円	日本で買った SIM
現地通学費	8118 円	(研修先まで 30 分)一ヶ月 51 ユーロ
教養娯楽費	105800 円	コンサート、ホテル、美術館、ザルツブルクチケットなど全て込み
被服費	12700 円	長袖 2 枚、T シャツ 2 枚
雑費	5800 円	シャンプーやリンス、ノート、日焼け止めなど
お土産	28000 円	例:
swarovski	25000 円	例:
合計	約 25 万 円	円安で 1 ユーロ 159~162 円で引き落とされていました。

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:5 万円ほどユーロに替えて行った その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
事前にアマゾンで Three という SIM を購入していった。寮や大学には Wi-Fi があった。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
基本的には現地で調達できるので絶対に持って行ったほうがいいものなどはないが、クレジットカードは 2 枚ほど持っておくと安心だと思う。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: 駅員、ロストバゲージセンター) 特記事項: ザルツブルクでコインロッカーに入れていた荷物がなくなった。駅員と OBB の忘れ物センターに連絡をした。貴重品などは特に入っていなかったので、大ごとにはならなかった。
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
貴重品は肌身離さず持つようしていた。夜の 23 時などに出かけるときは流石に一人で行動しないよう、誰かを誘うようしていた。夜中にシェーンブルンまで散歩に行ったとき、変なおじいさんに追いかけられたときが一番怖かった。一緒にいた人とちょうどそこにいたドイツ人の少年と全力で走って逃げた。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

通信問題で困ったことは特になかった。
大学の Wi-Fi は授業が始まるとパスワードを紙でもらえるのでそれを入力した。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	鍋やお皿、コップが充実していて自炊ができる状況だった。置いてある包丁があまりにも切れないので、キッチンバサミを買った。寮はすごく綺麗で、私の部屋は一番上の端だったこともありテラスもあって快適だった。シャワーや洗面所は共有なので、髪の毛などは残さないよう特に気を遣った。日中は 36 度になる日もあったが寮や教室には冷房がないのでサウナのような状態になる。一度熱中症のような状態になってしまったので、そうならないように暑さ対策を何かしたほうがいいと思う。私は教会やカフェ、美術館に行って涼むようにした。

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	普通の授業が本当に楽しかった。イタリアやポーランド、ロシア、イスラエル、コロンビアといろんな国から来たクラスメイトがいて話してみると文化や考え方が全然違って面白。アットホームな雰囲気でもとても居心地が良かった。
2) 課外プログラムについて	歌を歌ってみるクラスやウェルカムパーティー、ピクニック、ハイキングなどいろんなアクティビティが用意されていた。追加の語学クラスは少し高いと感じたけれど、無料のプログラムもあるので配られた冊子から自分の興味があるものに行ってみるといいと思う。
3) 滞在先・現地での生活に関すること	日本の授業のように黙々とノートを取るような授業ではなく、みんなが発言することで授業が進んでいく感じだった。先生もクラスメイトもとっても優しいので、わからなかったらわからないままにせず必ず質問したほうがいい。また、どんどん発言することで授業がより楽しくなると思う。間違えても誰も気にしてないし、みんな間違えまくりなのでとりあえず発言してみるのが大事。あと、文法はある程度学んでいくと授業についていきやすい。私のいた A1/2 では完了形、前置詞、命令形などを学んだ。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

ミュージカルエリザベートが好きなこと、ドイツのオペラや演劇が好きなこと、ずっとクラシックをやってきたので「音楽の都」とも呼ばれるウィーンに憧れがあったことなど様々な要因がありこの研修に参加しました。また、この研修での個人的な目標は語学力の向上、そして「とにかく挑戦してみること」でした。私は自分に自信が持てないことが多く、人からどうみられているかばかり気にしたり、あれやっとならば良かったと後から後悔してばかりだったのでこの研修がそんな自分を変えるきっかけになればいいなと思っていました。そして、なんでも挑戦することで積極性を身につけつつ、自分が一人でどこまでやれるのか試したい気持ちもありました。

ドイツ語に関しては日本で第二外国語として文法やリーディングを学んだだけで、スピーキングやリスニングはほとんどやったことがありませんでした。そのため最初は先生の言っていることも聞き取れず、クラスの人たちの勢いにも圧倒されてしまいました。しかし、このままではダメだと感じ、どんどん発言や質問をし始めたことでクラスにも馴染めて、ドイツ語も英語も上達し、授業が楽しくなっていました。恐れず自分からアピールしていくことが大切です！

ウィーンでの生活は本当に最高で、日本に帰りたくなかったほどでした。授業が終わればパーティーに参加したり、教会巡りをしたり、映画祭に行ったり、コンサートへ行ったり、美術館巡りをしたり毎日どこかに出かけました。週末にはスロバキアやザルツブルク、ブダペストへ行きました。ハンガリーでは現地の方達に混じって鍾乳洞ツアーに参加

し、ザルツブルクではウンタースベルクと言う山に登ってみました。また、スロバキアのデビン城は、中心から少し離れていますが人も少なく、素晴らしい景色なのでぜひ行ってみてください。鉄道やバスのチケットは早めに買うと安くなるので、早めに予定を立てるといいかもしれません。

この研修を通して、たくさんの人と出会い、たくさん経験をして、たくさん学ぶことができました。日本にいたら絶対やらなかったことにも挑戦しましたし、自分がこんなことまで一人でできるのだと自分自身に少し自信を持てるきっかけにもなりました。これまでで一番充実した楽しい一ヶ月でした。本当に本当に参加して良かったです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 50000 円	
図書費	約 40000 円	
学用品費	約 3000 円	
携帯・インターネット費	円	
現地通学費	約 7000 円	(研修先まで 約 30 分) 1 か月乗り放題チケット使用
教養娯楽費	円	
被服費	約 20000 円	
雑費	約 20000 円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	約 140000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:ウィーンではなく日本で円からユーロに両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
海外(国際)ローミングを使用
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
一枚上に羽織るもの。最初の週は 20 度以下の日もあり半袖のみでは寒かった。 二週目以降は暑く、日差しも強かったので帽子やサングラスも持っていくといいかもしれません。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
特に収集はしなかったが、防犯対策に関しては貴重品をなくしていないか定期的を確認をしていた。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の wifi は思っていた以上に接続がよく、何の問題もなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ごみ捨ては分別をする必要がなく、寮の入口付近のごみ捨て部屋(Müllraum)に捨てることになっていて簡単だった。乾燥機が故障して使えないときもあり、日本から部屋干し用にハンガーなどを持ってきてよかった。因みに部屋のクローゼットにもハンガーがいくつか(5 つほどか)掛けられてはいた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
特になし
2) 課外プログラムについて
課外プログラムの情報に関しては、ネットや冊子に記載されているものが授業中にも(課外プログラムの宣伝としてドイツ語で)伝えられることがある。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
夜は少し治安が悪いが、執拗に絡まれることは減多になかった。 駅が近く(徒歩 5~6 分)、寮の目の前にバス停があった。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

ドイツ語の勉強が好きでドイツ語の語学留学プログラムを探していたらこのプログラムに出会いました。ウィーンではドイツ語だけでなく英語を使う機会も多かったです。第二言語として英語を話すヨーロッパ人がほとんどだったので英語はコミュニケーションのツールとして使われていたため、簡単な英語さえ分かっていたら問題ありませんでした。相手と会話を成立させることが重要なので、仮に英検 1 級レベルの英単語を使っても相手が知らない単語なら意味がありません。クラスは渡航前のオンラインクラス分けテスト(筆記試験と zoom を使ったスピーキング試験)で決まりますが、かなり細かくレベル分けされ実力に見合うクラスに配属されるので授業についていけない心配をする必要はほとんどありません。また、授業中はドイツ語しか話さない教員でも英語が全く分からないというわけではないので、困ったことがあれば英語で相談してみると良いです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	100000 円	
図書費	0 円	
学用品費	2000 円	大学の書店にて授業で使う教科書を購入しました。
携帯・インターネット費	20000 円	ドコモの世界そのままギガで、国・地域限定割プランの 30 日コースを契約しました。
現地通学費	8000 円	(研修先まで45分) 1か月定期を購入し、U-Bahnとトラムを使って通学しました。
教養娯楽費	70000 円	観光地の入場料や、周辺国へ行った際の特急列車やバスのチケット代など
被服費	5000 円	雨が降って最高気温が 20 度ほどの日があり寒かったので、パーカーを購入しました。
雑費	50000 円	お土産代など
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	255000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にありません。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 成田空港の両替所とシュテファン大聖堂近くの両替所で日本円から両替しました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
ドコモの「世界そのままギガ」というサービスを契約して、普段日本で契約しているデータ量(30GB/月)をそのまま利用しました。国・地域限定割プランを契約しましたが、休日に訪れたスロヴァキアやハンガリーはもちろん、飛行機の乗り換えで滞在したドーハでも問題なく利用することができ、とても便利でした。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
準備していき助かったもの: サランラップ、一度開けた袋の口を止めるクリップ 準備したほうが良かったもの: 洗濯用洗剤(現地で売っているものは、大容量で匂いが強いものばかりでした)、箸(料理するときが必要だと感じました)、保冷剤と保冷バッグ(帰国する際のチョコレートのお菓子をスーツケースに入れたかったのですが、保冷剤は現地では全く見かけませんでした)

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
危険地域情報は、初めて行く人通りが少なそうな場所のみインターネットで検索して確認していました。防犯対策では、パスポートや財布をカバンの底の方に入れて持ち歩くようにしました。一度、自分の不注意でスマートフォンをリュックの側面のチャックがないポケットに入れたまま3時間ほど観光してしまいましたが、盗まれることはありませんでした。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

寮の Wi-Fi は、自分の部屋で扉を閉め切っているときは少し接続が悪いかなと思いましたが、それ以外は全く問題なく利用することができました。大学の Wi-Fi は、最初の授業の日に期間限定の SSID とパスワードを教えてくださいましたが、最後の1週間ほどはその ID とパスワードが使えなくなってしまい、自分で契約していたプランのデータ量を使用しました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
<p>キッチンにはIHのコンロだけでなくお湯を沸かすポットやオーブン、電子レンジなどもありましたが、私はオーブンの使い方が分からなかったので利用しませんでした。冷蔵庫は日本のビジネスホテルにあるような小さいサイズのものですが、冷凍庫も付いていました。部屋には冷房がなく、外の気温が 30 度を超えるような日は暑かったので、汗を拭くシートやハンディファンを持っていくといいと思います。夜も布団をかぶっていると暑かったので、パジャマや部屋着は半袖で大丈夫だと思います。</p> <p>共用のランドリールームにはドラム式の洗濯機と乾燥機がそれぞれ4台ずつありましたが、乾燥機が3台も故障していました。そのような場合に備えて、部屋干し用の洗濯洗剤とハンガーや紐などの自分の部屋で洗濯物を干せるようなものを持っていくといいと思います。</p>

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
特に参加しませんでした。
2) 課外プログラムについて
一度学校の事務室で申し込もうとしたところ、「もう予約がいっぱいなのでキャンセル待ちの〇人目になります」と言われ、結局順番が回ってくることはありませんでした。絶対に参加したいプログラムがある場合は早めに申し込むといいと思います。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
ハルシュタットやバッハウ渓谷などの自然豊かな地域は公共交通機関を乗り継いで行くのが難しいので、Get Your Guide や Veltra などのサイトからウィーン発のバスツアーを申し込んで参加すると便利です。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私は『エリザベート』『モーツァルト!』などのオーストリアにゆかりがある人物に関するミュージカルが好きで、その舞台でドイツ語を勉強してみたいと考え、このプログラムに参加しました。留学するのは初めてで、長期間実家から離れて生活したこともなかったので出発するまではとても不安でしたが、現地ではとても楽しい時間を過ごすことができ、1か月があつという間でした。

平日の午前中は毎日欠かさず学校へ行って授業を受け、午後からはウィーン内の様々な観光地を訪れました。外を歩くことが多いですが、ウィーンの街は木や高い建物などがほとんどなく、日影が非常に少ないため、サングラスや帽子は必須だと思いました。休日は日帰りで、国内のザルツブルクやハルシュタットの他、スロヴァキアのブラチスラヴァやハンガリーのブダペストに行きました。1人で行くこともできると思いますが、泊まりで飛行機を使わないと行けないような国に行く場合は、事前学習の日に友達を作ったり、ルームメイト(私は同じプログラムに参加している他学部他学年の子と2人部屋でした)や、語学学校の授業で同じクラスになった他大学の子と仲良くなったりして複数人で行くくと安心でき、費用も抑えられると思います。

繰り返しになりますが、1か月は思ったよりもあつという間なので、体調管理に気をつけて1日1日を大切に過ごしてください!

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 70,000 円	
図書費	0 円	
学用品費	約 3,600 円	現地で教科書を購入
携帯・インターネット費	約 20,000 円	Docomo の世界そのままギガプラン利用
現地通学費	約 8,000 円	(研修先まで 約 30 分)一ヶ月定期券を購入
教養娯楽費	0 円	
被服費	約 8,000 円	到着時の気温が低く、パーカーを購入
雑費	約 30,000 円	お土産代や必要品代
その他	約 125,000 円	例: 旅費(飛行機、バスツアー、宿代など)
その他	約 22,000 円	例: ウィーン以外の街や特急券などの交通費
合計	約 28 万 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 成田空港で5万円分換金 その他用意したもの: <input type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
Docomo の「世界そのままギガ」というプランを利用。Wi-Fi をレンタルするよりも安い。また、ドイツやイタリアに行った際にも利用できた。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
気温の差が激しかったため、夏服のほかに厚手の洋服もあったほうが良い。寮はエアコンが無いため小型扇風機があると便利。洗濯物が乾燥機で乾ききらない時があるので洗濯ハンガーがあると良い。タオル類は何かと必要になるので多めにあると便利。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ウィーンの治安は比較的良いが、カバンにチェーンをつけて携帯と財布には常に注意を払っていた。また、カードを Apple Pay に登録し、なるべくお財布を開かないようにしていた。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

世界そのままギガがどこでも使えたので、Wi-Fiはあまり使わなかった。寮にはフリーWi-Fiがあったので接続していた。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態	<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2人)
3) 共有部分	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	自炊をするのであれば、日本の調味料があると便利です。現地にも売っていますが、割高です。洗剤やトイレットペーパーなどの必需品は相部屋の子と二人で全て割り勘しました。食器用スポンジは一個あれば十分なので持っていくことをお勧めします。寮の部屋にはエアコンが無く、少し暑いです。窓はありますが、私の部屋は網戸がなく虫が入ってきてしまうので、現地の電気屋さんで14€の小型扇風機を買いました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	メインのドイツ語クラスは非常に良かったです。私のクラスは16人で、日本人が2人、他は様々な国から集まっていました。年齢も様々でしたが、ドイツ語のレベルは同じくらいなので拙いドイツ語でお互いにコミュニケーションをとるのを楽しめました。先生も非常に優しく丁寧でわかりやすかったです。
2) 課外プログラムについて	様々なプログラムが用意されていましたが、私はピクニックのイベントに参加しました。そこでも様々な国の人と交流することができました。
3) 滞在先・現地での生活に関すること	街に無料のウォーターサーバーが設置されているので、水筒を持ち歩いていました。水道水も普通に美味しく飲めます。外食は基本的に高いです。その上信じられないほど美味しくなかつたりするので注意が必要です。スーパーは閉まるのは早いですが、自炊の方が食費を抑えられるので夕食はなるべく自炊をしていました。交通機関は地下鉄、路面電車、バスが同じ定期券で利用できますが、遠くに行く特急電車は別の券を購入する必要があります。DB Navigator というアプリを使えば電車を調べられるのでお勧めです。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は文学部ドイツ文学専攻で二年間ドイツ語を勉強していたので、現地でドイツ語を使いたいという思いから留学を決めました。留学前に独検2級を取得していたので、語学力に関しては少し自信があったつもりでしたが、授業初日は半泣きでした…。先生が話すドイツ語が全然聞きとれず、また私ともう一人の日本人学生の子以外は皆英語話者だったため、最初は輪にも入れず本当にやっていけないのか不安でした。ですが、勉強している内容に関しては既に学んでいたことだったので授業についていくことは出来ました。周りの海外の人を見ると、文字ではなく音で学習していることがよくわかりました。そのため、テキストの問題は間違えても先生とコミュニケーションをとることが出来ていたのが印象的でした。とても素敵なクラスメイトに恵まれ、授業最終日にはみんなでお金を集めて先生にお礼のお花をプレゼントしました。また、ウィーン大学の日本学科の学生とも知り合いました。毎週水曜日に日独交流の飲み会が行われており、そこで仲良くなった学生と別の日にカフェでお互いにドイツ語と日本語の練習をしながら会話を楽しみました。最終日には初日と比べてかなり話せるようになっていたので、スピーキングは実践が一番良いと実感しました。

また、私は土日を使ってドイツ2日間、ベネチア、ハルシュタットに旅行に行きました。ですが、ドイツ行きの飛行機に乗り遅れてしまいました…。幸い一時間後の飛行機が取れたので予定通り観光は出来ましたが、155€の追加料金を払うことになったので、旅行に行く際は時間にはかなり余裕を持たせていくことをお勧めします。また、ベネチアは意外にもウィーンから飛行機で1時間と近く、本当に素敵な街だったのでおすすめです！日帰り旅行でしたが、十分楽しむことが出来ました。ハルシュタットには電車が本数が少ないため、バスツアーに申し込んでいきました。オーストリアの自然が堪能できてとても気持ちよかったです。ウィーンは都会なの

で気分転換に田舎の方に観光に行くのもお勧めします。ウィーン市内の観光は、最初の土日と平日の授業終わりにしていました。私のお気に入り、DEMEL というカフェのザッハトルテとオーストリア国立図書館です。また、「Ramen Makotoya」「Mochi Ramen」「Takumi Ramen Kitchen」この三つのお店では普通に美味しいラーメンや日本食が食べられます！少し高いですが、日本食が恋しくなったら行ってみてください。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	66,000 円	ほとんど外食、たまに自炊をしました。飲酒量が多めでした。
図書費	9,000 円	個人的に購入したワーク、趣味の本などです。
学用品費	3,000 円	大学の書店で教科書を購入しました。
携帯・インターネット費	30,000 円	Povo2.0 海外ローミング、合計16GB 使用しました。
現地通学費	8,000 円	(研修先まで 約 30 分) 1 か月定期を買いました。
教養娯楽費	43,000 円	コンサート 4 回とタイムトラベルウィーン、美術館などの入館料
被服費	18,000 円	正装用のジャケットと冬用のアウター、靴を買いました。
雑費	2,000 円	洗濯4回(2,75e/回)、乾燥機は無料
その他	40,000 円	例: お土産代(配る用のお菓子や、自分用の地図やポストカードなど)
その他	32,000 円	例: 周辺国への旅行代金(交通費や宿泊費)
合計	251,000 円	1€160 円で計算していますが、当時 158 円ぐらい。各項目で四捨五入。

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にありません。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 成田空港で外貨両替(64000 円分、その時のレートで 400€) その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード(楽天 VISA) <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート(かぞくのおさいふ VISA)
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
povo2.0 の海外ローミングを利用しました。 通話は利用しませんが、日本で使っている電話番号がそのまま使えるそうです。 少し割高かもしれませんが、思ったより使いすぎたときなどに追加購入ですぐ対応できて良いと思います。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
とても寒い週とても暑い週があったので、ハンディファンや上着などどちらにも対応できる準備があると良かったと思います。また、レトルトの食品があると節約になるので、スーツケースに余裕があったら入れておくと役に立つかもしれません。個人的には、日本からクッキーを持って行って良かったと思っています。普段の散歩やコンサートの時などに小さなカバンがあると便利だったなど少し後悔しています。私が行ったコンサートはすべて正装が必要ないものですが、おしゃれをして行くとテンションが上がるのでおすすめです。ウィーンではキャッシュオンリーの店もたまにあるため、昼食代を払える程度の現金を持ち歩いておくのが良いです。カタール航空はちょっと優しめらしく、荷物の重量が規定より数キロ超過しても追加料金を取られませんでした。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
あまり推奨されませんが、ほとんど調べずに行動していました。ウィーン以外にベルリン、クラクフ、アウシュビッツ、ザルツブルク、プラチスラバ、プラハなどに行きましたが、盗難被害などに遭うことはありませんでした。しかし、東欧などは特に治安があまり良くないような雰囲気があったので、いつもより荷物に気を付けたり雰囲気暗い場所を避けるように歩いたりしていました。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
寮の Wi-Fi は良好で、繋がらなくて困ったことはありませんでした。授業を受けていた教室ではたまに繋がらなくなることもあり、街のカフェでは Wi-Fi がないところも多くありました。povo2.0 を利用中たまに3G になって実質使えなくなることもありましたが、他の人も同じ現象になることがあったので、povo の問題は分かりませんでした。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人) 個室2つと共用部1つでした。隣の個室は同じ明大生でした。

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

明大生の女子は、ほとんど明大生の女子と同じ部屋(個室別)だった気がします。男子は外国人と同じ部屋になっていました。冷房がなく、部屋の構造によっては窓と玄関を開けても風通りが悪いこともあります。自立型の少し大きめのハンディファンがあるといくらかマシになると思います。ベッドは丁度いい硬さで、枕は柔らかく薄めでした。テレビ、食器、フライパンや鍋、冷蔵庫、電子レンジ、机上ランプなどは共用部や個室にあります。割り箸や紙皿があると、大人数で食事をするときに役立ちます。ティッシュがないので、とりあえず初日を過ごすためにポケットティッシュを持っていくと良いと思います。洗剤類や食器用のスポンジなどはないので、持っていくか現地で買うことになります。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容

ウェルカムパーティーやピクニックなど、他のクラスの留学生と交流する機会が何度もありました。また、シシィについての講義が個人的におもしろかったです。すべてドイツ語なので A1/1 の私には理解できないところもありましたが、リスニングやリーディング(パワポ)の練習にもなって良かったと感じます。

2) 課外プログラムについて

先述のように、シシィについてのプログラムに参加しました。エリザベートが好きな方や興味がある方は参加してみると良いと思います。

3) 滞在先・現地での生活に関すること

まず、スーパーが 20 時に閉まります。大きい駅のスーパーは 23 時までやっていたり日曜も開いていたりしますが、寮の近くのスーパーは早くに閉まってしまうため、日本にいるときのように「買い忘れたからコンビニに」ということができません。物価はものすごく高いということはありませんが、1 か月積み重なると結構な額になると思います。学校帰りなどに買いだしをしておくことをオススメします。また、到着して 3 日以内で住民登録をし、帰国の 1, 2 日前に住民登録の解除をしに行きます。最初の住民登録は寮の管理人から案内がありますが、帰国前の解除に関しては何も案内がなかったのを忘れないように気を付けてください。忘れて帰国すると次に入国したときに罰金があるらしいとネットに書いてあり、プラハから朝 3 時の便で帰ることになってしまいました。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私は、高校生の頃にドイツに憧れて第二外国語としてドイツ語を取りました。自分が外国で生活できるかなどの不安もあり、ずっと留学に後ろ向きでしたが、社会人になったら今より外国に長期で行きづらくなると考え、思い切って 4 年の夏の時期に参加しました。私は簡単な英語しかできず、ドイツ語も初心者のクラスだったので現地生活に不安もありましたが、行ってみると意外となんとかなります。どうしても通じないときは google 翻訳を使って乗り切ることもできたので、言語面での不安を抱えている方も大丈夫だと思います。残念ながらドイツに行く研修がなかったためオーストリア研修に参加しましたが、行ってみるととても良い街で、ウィーンに来て良かったと心から感じました。

研修前に日本でクラス分けテストを受けましたが、リーディングやライティングがあまりできず、その後のスピーキング(面接)もボロボロでした。話せなさ過ぎて 5 分ぐらいで面接が終わり、結果は A1/1 クラスでした。しかし、ほとんどドイツ語でドイツ語を習う授業だったので、1 か月で少し技能が向上してドイツ語で注文することもできるようになりました。1 か月という短い時間なので、どちらかというと旅行を楽しみたい気持ちが大きかったのですが、街を歩くことで結果的にドイツ語学習のモチベーションアップに繋がったので、出歩くことも大切だと思います。私のようにドイツ語にも英語にも不安がある方にも、思い切って参加することをオススメします。また、ウィーンは外国の中では治安が良い方だと思うので、初めて海外に行く方にもオススメです。